

島間の風

平成29年7月6日

南種子町立島間小学校

第 9 号



してあげる幸せ

校長 永留 良隆

梅雨に入り雨の日が続いています。大きな災害がなければ、よく空を見上げるようになりました。子供たちにとっては「今日の水泳はあるのかな？」が1番の心配事ようです。

さて、6月のある日の朝（始業前）、私がビーバーで草刈りをしていた時の話です。6年生S君が私に近付いてきて「校長先生、草を集めましょうか。」と言ってきてくれました。私が「ありがとう。それじゃ、お願いね。」と言って、そのまま草刈りを続けていると、いつのまにか6年生Rさんまで作業一輪車を持ってきて、集めた草をゴミ捨て場まで運んでくれました。田畑先生に聞くと、担任の指示ではなく、二人が自分たちの判断で行動を起こしてくれたことが分かりました。スゴイ！ 私は何かほんわり「あったか〜い（ひらがなに『〜』を入れるのは本来間違いですが、何となくピッタリくるので使いました！ 悪しからず・・・）」気持ちになって作業を終えました。

幸せには、「三つの幸せ」があるとされます。一つは「してもらう幸せ」です。困った時に親切にしてもらったり助けてもらったりすると、大人でも子供でも一緒、間違いなく幸せな気持ちになります。二つには、「できる幸せ」です。これまでできなかった跳び箱が跳べるようになる喜び、うまくできなかったかけ算九九の計算ができるようになる幸せ・・・勉強でもスポーツでも一緒です。三つには、人に「してあげる幸せ」です。「してもらう幸せ」「できる幸せ」がレベル1だとすると、この「してあげる幸せ」はレベル2に相当して、私自身は1番大切なことだと思っています。

この二人の子供たちが手伝ってくれたおかげで、私はその日1日、本当に幸せな気持ちで過ごすことができました。2年生の国語の教科書に「お手紙」という教材があります。まさしく、今からお手紙の届くのをかえるくんとがまくんがじっと二人で待つのも同じ幸せな時間を味わった気がしました。こんな手本になる6年生が身近にいるって、島間小は素晴らしい！ 「これからも『してあげる幸せ』ができる子供がもっともっと増えるといいな」と、梅雨空に向かって呟くおじさん（私）が校庭にいました。

さて、明日は七夕。子供と一緒に夢や希望を話してみたいかですか？ 子供たちは、親の予想もしないような意外な夢や希望をもっているかもしれませんよ・・・？ 明日は晴れるといいですね。

ありがとうございます！ 読み聞かせボランティア

お話ボランティアを募集したところ、元川さんと柴さんが昨年度に引き続きやってくださいます。本当にありがとうございます。子供たちは毎回お二人の読み聞かせを楽しみにしていて、去年もお二人の話術で本の世界に引き込まれた子供も多かったようです。

なお、「お話ボランティアをやってみようかな。」という方は、年度途中でも結構です。遠慮なく気軽に学校にお知らせください。（定期的にはなくても、例えば「〇月〇日の時に1回」でもOKです。「自分の子供の〇年生の学級だったら・・・」でもOKです。まずは気軽に友達のお母さん・お父さんと1回どうですか？）

集合学習・交流学習を実施

町内八つの小学校の同学年児童が一堂に集まって学習する「集合学習」（6年生は中学校との交流学習）が6月21日（水）・22日（木）に実施され、3～6年生が参加しました。昨年度からスタートした行事で、久しぶりに会った同級生と会話がはずんでいたようです。この日の活動に向けて、各学校の担当職員が事前に打ち合わせ（教科内容の検討や進程調整）を行い、当日は充実した学習活動が展開されました。1・2年生は2学期から実施する予定です。



能・狂言・・・本物を観る

6月27日（火）は「能・狂言の鑑賞会・体験会」を実施しました。本物の能・狂言を観るのは子供たち全員初めてだったようで、長谷小学校の5・6年生も一緒に



本物の舞台に触れることができました。日本の伝統芸能のよさ、磨かれた芸の素晴らしさを子供なりに感じ取ってくれたと思います。

校長の独り言

6月20日（火）の下校時、22日（木）の登校時は台風並みの強い風雨が続き、保護者の車による児童送り迎えをお願いしました（20日下校時はバレーボール少年団員以外の児童のみ）。お忙しい時間帯だったと思いますが、短時間のうち滞りなく無事実施できました。私の前任校は児童数が多いこともあって、年に1回、緊急時の児童引き渡し訓練をやっていました。訓練なしでこれだけ迅速に対応してくださる島間小の保護者の皆様に感謝です。子供の命は何よりも最優先。やってもやり過ぎがないのが安全対策です。今後とも御協力をよろしく願います。

